



2018(平成30)年1月号

お正月

2018(平成30)年、新年を迎えました。本年もどうぞよろしくお願いいいたします。年末の慌ただしい日々を乗り越え、年が明けると、気持ちがりフレッシュして、心にもゆとりができますね。新年を迎えると、今年目標を立てる方もおられるでしょう。私も達成できそうな目標を立てて、三日坊主にならないようにしたいと思います。

さて、お寺では元日の早朝、元旦会(がんとんえ)をお勤めします。これは、私たちが念仏者として、阿弥陀さまの御前で、今年もお念仏とともに日々を送らせていただく思いを新たにするためにお勤めする法要です。今号では、元旦会にまつわるエピソードをご紹介します。

浄土真宗では、み教えに会い、お念仏を慶ぶ人を妙好人(みようこうにん)と言います。浄土真宗の歴史上、多くの妙好人がいますが、その一人・道宗という方がおられました。

道宗さんは、室町時代末期の頃の方で、越中五箇山の赤尾谷(富山県)の出身であることから「赤尾の道宗」と言われています。俗名は弥七といい、本願寺第8代宗主・蓮如上人から直接教えを受けられました。

幼い頃、両親を亡くした弥七は父母に似た五百羅漢を探す旅に出かけましたが、その旅の途中「蓮如上人を訪ねれば別れることのない親に遇える」という夢のお告げを受けて、本願寺に立ち寄りました。ちょうど本願寺では、宗祖・親鸞聖人の報恩講の最中で、蓮如上人のお姿やご法話を聞いて感激し、三日三晩聴聞に励んだそうです。熱心な弥七の姿が蓮如上人の目に留まり、お側に留まることが許され、上人のもとで本願念仏の教えに帰依し、道宗という法名をいただくのでした。

ある年の元日、蓮如上人が井波の瑞泉寺(富山県・現在真宗大谷派・井波別院)にご滞在中の頃のお話です。その年の元日は特に雪深く、道宗さんがまだお寺に到着しないまま、元旦の朝のお勤めの定刻になりました。

蓮如上人は、「必ず道宗が来るからそれまで待て。」と仰せになり、太鼓を打つ人も梵鐘を撞く人も、道宗さんの無事を念じて、山の尾根をじっと目を凝らしていました。一方、道宗さんは、深雪に一度は挫折してしまいそうになりましたが、懐中していたご本尊(仏さま)に励まされ、雪中に体当たりするように歩きはじめたのです。

やがて白い尾根に黒い点が一つ。それは、道宗さんの姿でした。「道宗が来た!待っていたぞ、頑張れ!」と、皆で太鼓や鐘を力いっぱい打ちならしたのです。その大きな音に励まされた道宗さんは、何とかお寺にたどり着き、無事に元日のお勤めにお参りすることができたそうです。この逸話が起源となり、同寺では元日の朝のお勤めの時、梵鐘と太鼓の同時打ちをするようになったのです。

道宗さんは、真宗門徒のたしなみとして「赤尾道宗心得二十一箇条」を残されています。新年を迎えることへの喜びだけでなく、阿弥陀さまのお慈悲を喜ぶ気持ちで迎える新年でありたいものです。

仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. 仏壇はいつ、どこへ置く？

A. いつでも、家族が心静かに

礼拝できる所へ置く

お仏壇は、真実の依りどころとなる仏さまをお迎えして、そのお心と浄土を味わうところなのです。購入時期については、家族に死者が出ようが出まいが、それに影響されずに求めるのが一番です。ただ、結果的にどなたかが亡くなられたのを縁に、というのはありません。

しかし、お仏壇を求めたいという気持ちがあっても、「死者が出る」といえないから今は止めておこう」というのはいただけません。「お仏壇を購入すること」と「死者が出る」ことの間に関係はまったくありません。そういう風に思う人がいたら、その人の心が迷っているのです。日の吉凶というものはありません。自分たちが気持ちよく、余裕を持って仏さまを迎えられる日が一番よい日です。

お仏壇を求めたならば、次に置く場所です。このポイントは、心が落ち着ける場所を選ぶことです。玄関先や部屋の出入口近くでは、人がよく通るので落ち着きません。また、外の光がお仏壇の背後から差し込む方角だと、お仏壇に向き合う人にとっては逆光となるので、眩しくて心が集中できません。「北向き」の方角を気にするよりも、実際の光の入り具合を考えて、向きを決めてください。

さらに小型のお仏壇では、タンスの上などの高いところには置かないことです。逆に、直に床に置くと、低く見降ろさねばならないでしょうから、これも避けます。目の高さより少し上に、ご本尊の仏さまが拝めるように置いてください。

もう一つ付け加えるならば、落ち着ける場所に置くとよいと言いましたが、家族がいつもくつろぐリビングに置いてよいでしょう。皆で手を合わせ、お勤めするなどして日ごろから親しむことが大切です。

新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

築地本願寺に合同墓開設！

近年、特に都心では家庭環境や生活スタイルの変化に伴い、お墓に対する考え方も変わってきました。

この度、築地本願寺はより多くの方にお寺に親しみを持ってもらえるよう合同墓を開設いたしました。

詳細については、

当会館にもパンフレットがございますので、お気軽にお問合せください。



平成30年の年回表

(ご法要のお申し込みをお忘れなく)

平成30年	年回表
1周忌	平成29年
3回忌	平成28年
7回忌	平成24年
13回忌	平成18年
17回忌	平成14年
23回忌	平成8年
25回忌	平成6年
27回忌	平成4年
33回忌	昭和61年
50回忌	昭和44年

12月行事の様子

★第2回キッズサンガ子ども会 12月9日(土) 10時～12時

寒い日でしたが、なんと22名の元気なキッズが集まってくれました。
焼き芋の下準備や写仏体験をした後、暖かい焼き芋を美味しくいただきました。

本堂でおつとめ



成道会にちなみ、お釈迦さまのお話をしたところ、子どもたちは意外にも熱心に聞いていました。また写仏体験では、集中して仏さまの姿を描いていました。

焼き芋の下準備



写仏体験



焼き芋食べ比べ



記念撮影



★常例法座 12月17日(日) 13時～15時

風が冷たく寒い中、17名の皆さまが参拝されました。
正信偈をお勤めし、ご講師・小林賢五師よりご法話をいただきました。

勤行「正信念仏偈」



ご講師・小林先生は、昨年4月に神奈川県川崎市に布教所を開設されました。現在、都市開教を精力的に励んでおられます。今回は、親鸞聖人のご和讃をご讃題にして、大きな声で力強くご法話をいただきました。(写真右)

小林 賢五師



▶ 1月の行事予定

元旦会

1月1日(月) 午前7時～

新しい年を仏さまとともに迎え
いたしましょう。

法要後、互礼会もございますので
どうぞお気軽にお参りください。

親鸞聖人御命日法座・新年会

1月14日(日) 午後1時～

ご講師 宮本義宣師

(神奈川県 高願寺)

法要終了後、新年会を行い

ます。是非、ご参加ください。



親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

1月16日(火) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

▶ 2月の行事予定

如月忌参拝

2月7日(水) 午後1時～

九條武子さまのご命日にあたり、

墓所のある和田堀廟所でお勤めされます。

常例法座

2月18日(日) 午後1時～

ご講師 高山 和明師

(神奈川県 長徳寺)

どうぞ、お気軽にお参りください。



発行日 2018年1月1日
発行者 安邊 泰教
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話番号 042-1474-6787

東久留米会館会報 「ともしび」
第261号

編集後記

長女が縄跳びの練習をすると言ったので、私も縄跳びを買って練習に付き合いました。十数年ぶりにやってみると、すっかり体が鈍って昔のようにはいきません。おまけに筋肉痛で体のあちこちが痛くなる始末。運動不足ですね…(安)

お晨朝お休みのお知らせ

1月4日(木)、5日(金)、6日(土)
三日間お休みさせていただきます。

ありがとうございます。

今月のお仏飯米のご進納
高田 慶彦様 石田 竹男様
村中 秀行様 (リンゴ)
神谷 正弘様 (トマトジュース)